

目次

はじめに……………1

一 ハンセン病政策のあらまし……………3
病原性のきわめて弱い感染症／恐れられた病／隔離された病

二 民間医療と国策の開始……………9
浅井謙碩の献替病院の開業／第一回国際らい会議の波紋／法律「癩予防ニ関スル件」の成立／第三区府県立外島保養院の設置

三 隔離の枠組みの形成……………16
鳥取県論告「癩予防に関する方法」／鳥取県訓令「癩予防に関する法令施行手続」／外島保養院への送致／療養所分担金の負担

四 全患者隔離への道……………24
「癩予防法」の制定と長島愛生園の開所／財団法人癩予防協会の活動／長島愛生園医官による患者訪問／澄宮の来県と収容の促進／十坪住宅運動への参加

五 立田知事と無らい県運動……………36
「故郷」への着任／「癩予防は私の念願」／県内患者一斉調査の実施へ／愛生園への入所願へと患者収容／患者数増加への憂慮

六 鳥取県癩予防協会の発足……………47
「無らい県」へ挙県一致の大事業／無らい県運動の現状認識／募金活動に対する議会の批判／寄附目標の達成と風評の拡大／財団法人鳥取県癩予防協会の設立／二人の権威者／朝鮮癩予防協会の経験

七 「鳥取寮」の完成へ……………65
地方長官会議での奏上／長島愛生園視察団の派遣／「鳥取寮」の完成／無らい県の「達成」

八 長島愛生園からの逃走……………78
「鳥取寮は空き家」／収容の反動としての逃走／逃走者が明かす園内生活／戦時下の患者収容と一時帰省

九 戦後の無らい県運動……………87
継続する隔離政策／改正「らい予防法」の時代

おわりに……………93

巻末資料
参考文献／引用史料出典／写真所蔵・提供者／あとがき